

企 画 名：斑点米カメムシ類による経済的損失回避策の転換に関する秋田県への要請

団 体 名：米の検査規格の見直しを求める会

1. 報告要旨

秋田県農林水産部は、今回の要請に対して画期的な回答を行った。要請の主な事項は、農協が農家に支払う米代金に関するもので、実際のカメムシ被害に比べ、農協が2等米代金を大幅に安く*支払っていることが農薬散布を助長するため、適切な下落幅に是正するよう農協に働きかけてほしいと要請した。（*0.2～0.3%の斑点米被害で2等米になると、米代金が5%以上安く支払われる）

これに対して県は「民間取り引きで決まる米価を指導する立場にはない」としつつも「等級間格差は合理的に説明可能な根拠を持つべきで、全農に求めていく」と答え、1等米と2等米代金の差額には合理性がないことを認めた点で画期的だった。

これについてJA全農秋田県本部は「秋田だけで判断できる問題ではない」とコメントし、明確な考えを示していない。

以上のやりとりがNHKテレビと新聞4紙で報道され、米の等級間格差と農薬散布の問題点に初めて焦点が当たった。今後、県の回答が他の関係団体にも波及し、農協に是正を求める声が高まるものと見られる。

2. 成果物

1. [秋田県農林水産部よりの回答書](#)

2. 「ネオニコ農薬抑制 県に要請 カメムシ駆除巡り消費者団体」2014/3/4 『朝日新聞 秋田版』

3. 「ネオニコチノイド系農薬使用回避を要請」2014/3/4 『読売新聞』

4. 「ネオニコ農薬、使わないで コメ農家に呼び掛けを 民間団体が県に要請書」2014/3/4 『秋田魁新報』

5. 「ネオニコ系農薬『使用中止広げて』秋田県に協力要請」2014/3/4 『河北新報 秋田版』

6. 「コメの等級格差 農薬使用を助長」2014/3/4 NHK 秋田放送局